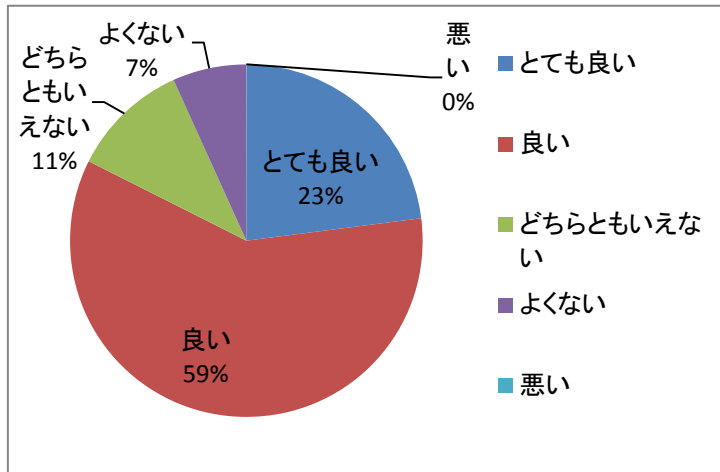


3. 2)全体の構成

とても良い	17
良い	44
どちらともいえない	8
よくない	5
悪い	0



(原文のまま)

- ・パネルディスカッションの時間が長い方が面白い。
- ・前半が学者の理論，後半が実際の現場，偏りがなく関連が分かりやすい。
- ・第1部と第2部のつながが悪い。1部は必要だったのか？
- ・幅広い話で良かったのでは。
- ・内容は多いがタイト。
- ・パネリスト(2部)の持ち時間が少ない。
- ・内容のバランスが良かった。
- ・「みんなで考える」のタイトルの意味があまり生かされていないのではないのでしょうか……。
- ・生産，流通，販売，研究それぞれの立場からの意見交換がされていたので良かった。
- ・成功例，失敗例，ハッキリした発表でも良いのでは？
(経緯や背景詳しく説明しすぎて，肝心なところがボヤけてしまうのでは)
- ・シンポの趣旨から見て良いと思います。
- ・もっとパネルディスカッションの比重が高くて良い。
- ・底曳き網の導入から底曳きの将来をどうするか，流れるように議論されていたから良かった。
- ・内容のバランスが良かった。
- ・概要→意見提示→ディスカッションの流れが分かりやすく良かった。
- ・パネリストのバランスが良い。
- ・第1部はもう少しコンパクトで良かったかも知れないと思いました。
- ・各方面の識者から話をして貰うことは有意義だが，各人の発言時間が短くなり，どれも中途半(良い足りない)になった感じもする。
- ・小底と流通を繋げるには，時間が短かったです。流通に絞った方が良いように思います。
- ・発表時間が少し短い。
- ・最後の討論の部分が短い。
- ・各発表間で被っているところがなく，密度の良い話が聴けた。
- ・最初の漁具改良の話は専門的過ぎ。今回の様な小底漁業をどう盛り上げていくか，という点で後半のパネルディスカッションにもっと時間を掛ける方が良い。